

第43回 親善野球大会

第43回東デ協親善野球大会が6月7日・14日・28日に開催されました。

本来であれば6月6日の開催だったのですが、初日は雨で順延になってしまいました。

実は昨年も初日順延になってしまい、2年連続の雨スタートだったのですが、選手、応援団のみなさんスケジュールを調整して初日を向かえました。順延後は梅雨にもかかわらず3日間とも天候も恵まれ絶好の野球日和となり熱戦が繰り広げられました。

今大会は17チームでの参加で、ベスト4は「シミズオクト」「丹青社」「セレスポ」「アイ工芸」が勝ち残りました。やはり「シミズオクト」の3連覇か、それともそれを阻むチームが現れるのか、そこに注目が集まりました。

よくプロスポーツにおいて、ファンやサポーターの力が大きいと言いますが、今大会を通じて各チームのバックアップがあって声援も多く選手を盛り上げていました。

その声援を力にいよいよ準決勝、決勝です!

準決勝は日の丸球場で昨年の準決勝で対戦した、前回優勝のシミズオクト対丹青社戦

もう一つの準決勝は、桜球場でセレスポ対やはり昨年準決勝進出、のアイ工芸戦。

セレスポは女性ピッチャーを起用して準決勝まで見事勝ち抜いてまいりました。

決勝は5回の猛攻で4点をたたき出したアイ工芸 と試合時間1時間20分、3対2で勝ち抜いたシミズオクト戦となりました。決勝は、アイ工芸先制点0-3とひらく。シミズオクトは、すぐさま3点取り返しなおも2、3塁となったが、もう1点が遠かった。5対3とアイ工芸がリードし、最終回の表シミズオクトは1点をかえすも、試合終了。

今年の覇者は、お見事 アイ工芸となりました。

広報委員 株式会社ニップコーポレーション 田村 武男 / 株式会社フジヤ 大類 憲司



